



# 11月らっこだより



今月の  
わらい

- さくら：秋の自然に興味関心を持ち、遊びに取り入れて楽しむ。
- ひまわり：友だちと一緒に役になりきって遊ぶことで、イメージを膨らませたりしながら言葉や動きを考えたりする。
- すみれ：ルールのある遊びの楽しさが分かり、相談して決まりを作ったり、守ったりする。
- チーム：冬野菜の生長を観察し、収穫までの管理をみんなで行う。

## みんなの野菜！

9月下旬に、朝の会で「冬野菜は何を植える？」と話し合いをしました。  
6種類の野菜が出てきて、それぞれ「何にして食べたい！」という声もあがってきました\*

- ほうれん草、赤かぶ、白菜 → お味噌汁に入れたい
- カリフラワー、ブロッコリー → シチューに入れたい
- マヨネーズにつけて食べたい
- ネギ → うどんの上のにせたい



### 畝づくり

「野菜のおうちになる場所だよ。」と話す、「どれくらいのお山がいいんだろう？」「ちょっと低すぎない？雨で崩れそう」と収穫する野菜の大きさを考え、会話をしながら畝が完成！  
「どこに何植えたかわからなくなならないように看板つくらなきゃね！」とその日は帰りました。



次の週、どんな看板作ろうかと話に…

### 看板づくり

「木に紙をつけて土に刺して立たせる！」  
「でも赤ちゃんが触って折れちゃうの嫌だな…」  
「じゃあこの木（手作りのパーティションを指さして）あの余りで作ったら!? 作り方わからないけど…」  
「確か、畝づくりの時めぐみ先生が持ってたような…」と話が進み

畝づくりの時にみた看板はどうやって作るのか

さっそく、めぐみ先生に看板の作り方を聞きにいくと、  
「作り方はわからないんだけど、看板があるところは知ってるよ」と看板をくれました。看板をもらった子どもたちは「ゲットしたから、これで看板作れる！」と喜んでみんなの待つ部屋に持っていきました。看板が手に入ったことで、子どもたちの気持ちは、「木で看板を作りたい」から「絵に描いた野菜を貼り付けて看板を完成させたい」に変わってきました。



看板そのものを作るのではなく、看板があってそこから野菜の絵や文字を描いたものを作り「完成」へとしたかったことが分かりました！予想していた子どもたちの姿でなく、子どもたちの目的がはっきりと見えた瞬間で、面白いなと思いました♪



担任が選ぶ

## ～ おもいで一枚！！10月版 ～



プリンカップを大切に持って遊んでいる男の子。  
色水を入れて、カップを眺めていると、何かに気が付きました。  
プリンカップの下には、小さな棒があり倒すと穴が開きます。  
それを見つけた男の子は、中の色水をこぼさないようにと、どうすれば穴が開くか…慎重にそこを触ると、小さな音で「カチッ」といいました！その瞬間ぱたぱたと水が出てくる様子を見て、嬉しそうにカップを眺めていました♪水が出た時の瞬間の顔が何かを発明したような顔で可愛らしかったです\*  
しずか

「先生、曲流して」と声をかけてきた女の子。曲が流れ始めると最初はキョロキョロしながら踊ったり、途中でやめたりと、踊りたいけど恥ずかしいといった様子でした。でも、だんだん友だちが集まってくると一緒に手をつないだり、声を掛け合ったりしながらみんなで楽しんで踊っていました！その後もどんどん気持ちが乗って、最高の笑顔で踊っている時の一枚です。  
めぐみ

